

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41100 健康	公共浴場設備改善事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
				款	4	衛生費		基本分野	2	環境・景観		
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1	保健衛生費		分野	2	生活環境	H28実施計画額	1,800 千円
			2844	目	1	保健衛生総務費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	市民の公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化	概要	事業の実施手法(手段)	市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・その他の浴場設備)整備・改善の費用に対し補助を行う
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(ソーラシステム設備・蒸気ボイラー設備・その他の浴場設備)整備・改善の費用に対し補助を実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	補助件数	件	目標値	4	4	4	4
		実績(見込)		4	3	4		
	算出根拠等	公共浴場設備改善対策事業費補助金実績		達成率(%)	100	75	100	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	ほとんどの市内公衆浴場事業者が、経営者の高齢化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えており、現行の設備改善対策事業費補助金の補助率では、修繕費の半分以上を事業者が負担しなければならないことから、大規模な改修等の対応が困難と考えている。 高山市公衆浴場組合等でも、利用者増加に向けたイベントを開催する等の対策を行っているが、依然として経営は厳しい状況であるため、利用促進のための取り組みを検討する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	事業(補助)内容は前年度と同じ。 公衆浴場の利用者の状況等の実態を把握した上で支援を見直す検討が必要である。																	
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">公衆浴場の利用者の状況等の実態を把握した上で、利用促進に向けた取り組みを検討する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○維持・改善	公衆浴場の利用者の状況等の実態を把握した上で、利用促進に向けた取り組みを検討する。		拡大		縮小	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	○維持・改善	公衆浴場の利用者の状況等の実態を把握した上で、利用促進に向けた取り組みを検討する。																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	670	611	1,800	1,800
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	7	7	20	20
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等の費用に対する助成	要求のポイント	市内の公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化を図る。	事業実施の課題	市内公衆浴場事業者は、経営者の高齢化や利用者の減少等により今後の経営見通しに大きな不安を抱えており、事業の継続が困難な事例もあることから、施設の減少につながらないような対策の検討が必要
------	--------------------------------------	---------	-------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,800	1,800	0	1,800	1,800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,200	1,200	0	1,200	1,200		
	その他			0				
	一般財源	600	600	0	600	600		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41110	畜犬登録事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
	款			4	衛生費	基本分野		2	環境・景観		
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1		保健衛生費	分野	2	生活環境	実施計画事業
	2844			目	1	保健衛生総務費	施策概要		2	公衆衛生環境の確保	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び市内の犬の飼い主	どうしたいのか(意図)	狂犬病の発生及びまん延予防、狂犬病の撲滅を図り、公衆衛生及び公共の福祉の向上につなげる	概要	事業の実施手法(手段)	飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 狂犬病予防注射の実施 飼い主等に対するマナー啓発の実施
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 狂犬病予防注射の実施 飼い主等に対するマナー啓発の実施						
活動指標	登録頭数	頭	目標値				
	実績(見込)		5,168	4,998	5,100		
成果指標	算出根拠等	畜犬登録システムデータ等	達成率(%)				
	目標値		5,000	5,000	5,000	5,000	
成果指標	狂犬病予防注射接種頭数	頭	実績(見込)	4,695	4,379	4,500	
	算出根拠等	畜犬登録システムデータ等	達成率(%)	94	88	90	
成果指標	狂犬病予防注射接種率	%	目標値	88	88	88	100
	実績(見込)		91	88	90		
成果指標	算出根拠等	畜犬登録システムデータ等	達成率(%)	103	100	102	
	目標値						
補足	実績(見込)						
	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	飼い主に対する登録等の届け出や、狂犬病予防注射の必要性の周知 飼い主に対するマナー向上についての啓発
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	一定以上の年齢の犬の飼い主に対する登録状況の確認や、犬の飼い主に対する犬の登録や狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 未接種者に対する啓発を実施。 登録や注射履歴データ管理の簡素化・効率化を図る方法を検討。 希望者に対するマナー啓発看板の配布を実施。	
次年度の実施方針	○維持・改善	一定以上の年齢の犬の飼い主に対する登録状況の確認や、犬の飼い主に対する犬の登録や狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 未接種者に対する啓発を実施。 登録や注射履歴データ管理の簡素化・効率化を図る方法を検討。 希望者に対するマナー啓発看板の配布を実施。
	○維持・改善	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 537	497	620	718
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 6	5	7	8
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 ・狂犬病予防集合注射の実施 ・ペットの飼い主等のマナー啓発	要求のポイント	・狂犬病予防注射の接種率向上のため、狂犬病予防注射未実施者に対する接種勧奨を実施 ・ペットの飼い主のマナー向上・動物愛護の啓発	事業実施の課題	・畜犬登録データの正確性の確保 ・狂犬病予防注射の接種率の向上 ・ペットの飼い主のマナー・動物愛護意識の向上
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	620	718	98	620	620	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	620	718	98	620	620		
一般財源			0				

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41120 保健	公衆衛生推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさに生まれ健やかに暮らせるまち	根拠計画		市長公約
				款	4	衛生費			基本分野			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線		項	1	保健衛生費	分野	5	保健	H28実施計画額	1,200 千円	
		2844		目	1	保健衛生総務費	施策概要	1	健康づくりへの支援			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持及び公衆衛生の向上を図る。 東京電力福島第一原子力発電所事故による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施による市民等の不安の軽減を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	保健・衛生関係事務全般に係る諸費用、関係団体負担金の支出、消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施
	対象者数			90,938 人		

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	保健・衛生関係事務全般に係る諸費用 飛騨公衆衛生協議会負担金の支出 飛騨口腔保健協議会負担金の支出 消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施・結果の公表							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	負担金の適正な使途の確認
-----------------	--------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	市の保健・衛生関係事務全般に係る事務費であるため、前年度と同様に実施。 負担金の適正な使途の確認。 消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施・結果の公表。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	
	拡大	市の保健・衛生関係事務全般に係る事務費であるため、前年度と同様に実施。 負担金の適正な使途の確認。
	縮小	消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施・結果の公表。
	廃止検討	
○ 維持・改善		
二次評価	拡大	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 383	2,603	1,234	3,668
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4	28	14
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・保健・衛生関係事務全般に係る諸費用 ・関係団体に対する負担金 ・食品放射性物質測定	要求のポイント	・食品放射性物質測定に要する費用を計上	事業実施の課題
------	--	---------	---------------------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,234	3,668	2,434	3,644	3,644	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	35	30	△5	43	43		
その他			0				
一般財源	1,199	3,638	2,439	3,601	3,601		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41200	健康づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	健康たかやま21(第2次)、食育推進計画(第2次)	市長公約
	款			4	衛生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		健康づくり推進事業費	
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1	保健衛生費	H28実施計画額	分野	5	保健	3,500 千円		
	2844		目	2	予防費	施策概要		1	健康づくりへの支援				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	健康づくり推進協議会の開催、市内ウォーキングコースの案内看板の整備 ・市民と行政が一体となった「市民健康まつり」の開催 ・集団健康教育、食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まわり会) ・健康手帳の交付、一般健康相談、重点及び総合健康相談
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会の開催、市内ウォーキングコースの案内看板の整備</li> <li>健康まつりの開催(市役所・保健センター他)</li> <li>集団健康教育、食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まわり会)</li> <li>健康手帳の交付、一般健康相談、重点及び総合健康相談</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	健康づくり推進協議会開催回数	回	目標値	2	2	2	2
	実績(見込)		1	1	1		
算出根拠等	達成率(%)						
			50	50	50		
成果指標	ウォーキングコース看板等整備コース数	コース	目標値	2	2	5	9
	実績(見込)		2	2	5		
算出根拠等	達成率(%)						
			100	100	100		
活動指標	健康まつり参加団体数	団体	目標値	30	30	40	40
	実績(見込)		31	39	39		
算出根拠等	達成率(%)						
			103	130	98		
成果指標	健康まつり来場者数(本庁・保健センター会場)	人	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
	実績(見込)		2,200	2,400	2,600		
算出根拠等	達成率(%)						
			88	96	104		
活動指標	健康教育参加	人	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200
	実績(見込)		2,273	1,877	1,800		
算出根拠等	達成率(%)						
			103	85	82		
活動指標	飛まわり会による食生活改善事業参加者	人	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200
	実績(見込)		3,057	2,902	3,000		
算出根拠等	達成率(%)						
			96	91	94		
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内ウォーキングコースについては、利用率を高めるため、コースの周知や案内看板整備をさらに進めていく必要がある</li> <li>健康まつりの開催については、市民の健康ニーズへの対応や、自主的に健康づくり活動に取り組んでいる団体等の参加により、来場者数や参加団体の拡大、内容の拡充を検討。また、来場者の増加を図り、市民の健康に対する意識の向上を目指す</li> <li>市民一人ひとりの健康づくり支援のために、今後も健康の保持増進に役立つ科学的根拠に基づいた最新の情報を提供していく必要がある</li> <li>健康増進施設については、スポーツ推進課や市民課(国民健康保険事業)等と連携した事業の取り組みを進めていく必要がある</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、健康づくり推進協議会を開催</li> <li>関係課と連携を図りながら、ウォーキングコースの周知・啓発、ウォーキングイベントを開催。健康まつりについては、市民の健康ニーズへの対応や、新規参加団体の募集等を図りながら、参加団体の協働による効果的な運営の検討。また、健康増進施設のあり方や事業について関係課と連携しながら検討を進める</li> <li>昨年度の健康診査結果等の分析により、課題に対応した健康教育等の開催</li> </ul>	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時、健康づくり推進協議会を開催</li> <li>ウォーキングコースの周知・啓発とともに、利用促進のためウォーキングイベントを開催。また、コースの利用実態等について調査を実施</li> <li>健康増進施設のあり方や事業について検討する</li> <li>健康まつりは、市民の健康ニーズに対応し、自主的に健康づくり活動に取り組んでいる団体等、新規参加団体を募集し継続的に実施</li> <li>関係団体については「健康たかやま21(第2次)」、「高山市食育推進計画(第2次)」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく</li> <li>健康手帳の交付、一般健康相談、重点及び総合健康相談等各種相談事業の周知・啓発に努めながら事業を継続していく。</li> </ul>
	○二次評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングコースについては、周知・啓発のほか、利用実態等の把握に努める必要がある。</li> <li>健康増進施設の方向性を定める必要がある。</li> <li>健康まつりについては効果を検証し、事業のあり方について再検討する必要がある。</li> <li>健康づくりに対する新たなニーズへの対応を図りながら実施していく必要がある。</li> <li>関係団体補助については実施事業や運営状況を精査し、必要に応じ見直しを行う必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,707	2,134	4,001	5,540
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	29	23	44	61
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会の開催</li> <li>ウォーキングコースの案内看板の整備</li> <li>市民と行政が一体となった「市民健康まつり」の開催</li> <li>健康手帳の交付</li> <li>一般健康相談</li> <li>重点及び総合健康相談</li> </ul>	要求のポイント	ウォーキングコース案内看板等の整備	事業実施の課題	健康まつりは、市民の健康ニーズへの対応や、他イベントとの合同開催により、来場者数や参加団体数を増やす取り組みを検討するとともに、参加団体が協働し、効果的な運営を検討
------	---	---------	-------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,001	5,540	1,539	3,621	3,621	積算内容を精査	財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	707	707	0	707	707		
その他			0				
一般財源	3,294	4,833	1,539	2,914	2,914		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41210	こころの健康支援事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	健康たかやま21(第2次)		市長公約
担当課	市民保健部 健康推進課			内線	2804	款		4	衛生費		基本分野	4	
				項	1	保健衛生費	分野	5	保健	H28実施計画額	500 千円		
				目	2	予防費	施策概要	1	健康づくりへの支援				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	個別の相談や啓発を行い、こころの健康の保持増進を図る	概要	事業の実施手法(手段)	メンタルチェックシステムの導入によるこころの健康の啓発 精神保健福祉士によるこころの健康相談
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	うつ病講演会の開催、メンタルヘルスに関するパンフレットの結果説明会等での配布 精神保健福祉士によるこころの健康相談							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	精神保健福祉士によるこころの健康相談件数	人	目標値	36	36	36	36
				実績(見込)	25	33	30	
				達成率(%)	69	92	83	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	広報等により精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の更なる普及・啓発に努めている。 自らの精神状態を簡便な方法で確認し、早期に専門機関への相談や治療につながるよう、メンタルチェックシステム(こころの体温計)を導入。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・精神保健福祉士によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21(第2次)」にも新たに位置づけられた「こころの健康」につながることも、ニーズも増えてきていることから、今後も継続していく。 ・メンタルヘルス(うつ病対策・自殺予防)に関する事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	・利用者の健康状態の把握等による事業実施の成果を検証する必要がある。	
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,099	1,234	500	428
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12	13	5	5
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・精神保健福祉士によるこころの健康相談を実施 ・メンタルチェックシステムの運用	要求のポイント	・こころの健康相談の実施 ・メンタルチェックシステムの継続	事業実施の課題	・精神保健福祉士によるこころの健康相談の制度の普及・啓発
------	--	---------	----------------------------------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	428	△ 72	390	390	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	500	269	△ 231	270	270		
その他			0				
一般財源		159	159	120	120		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41220	健康診査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	健康たかやま21(第2次)	市長公約	健康診断の受診率の向上を目指した取り組みや地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。
担当課				内線	2804	款		4	衛生費	基本分野		4		
				項	1	保健衛生費		分野	5	保健	H28実施計画額	117,000 千円		
				目	2	予防費		施策概要	2	予防対策の推進				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	各種検診を充実し、疾病の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る	概要	事業の実施手法(手段)	前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付 4月中旬～3月中旬まで各種検診を実施
	対象者数	90,938 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬～3月中旬まで各種検診を実施。がん検診推進事業により、乳がん・子宮頸がん・大腸がんについて、一定年齢に到達した者に対して無料クーポン券を送付。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	各種検診受診者延べ人数	人	目標値	53,000	53,000	53,000	53,000
活動指標	算出根拠等	各種健診実績	実績(見込)	47,682	47,093	47,000	
	達成率(%)		90	89	89		
活動指標	がん検診受診率	%	目標値	50	50	50	50
	算出根拠等	がん検診実績	実績(見込)	40	38	40	
成果面	達成率(%)		80	76	80		
	算出根拠等		目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	各種検診受診率の向上。 健康診査(18～39歳)受診者の結果を分析した結果、すでに10代から生活習慣病に関連する健診項目の異常者が多い。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	各種検診受診率向上のための啓発及び一定年齢到達者への自己負担金の無料化を実施。 10代の健康診査受診者の増加を図るため、夏休みを利用した受診の啓発等を実施。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
各種検診を継続して実施する。「健康たかやま21(第2次)」の目標であるがん検診受診率の達成を目指す。	
利用者の健康状態の把握等による事業実施の成果を検証する必要がある。	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	107,300	106,648	117,573	132,871
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,165	1,164	1,293	1,461
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・健康診査・がん検診等の各種検診 ・検診案内等の発送	要求のポイント	・各種検診に要する費用を計上	事業実施の課題	・各種健康診査・検診受診率の向上 ・健診・検診の重要性についての市民意識の向上
------	-------------------------------	---------	----------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	117,573	132,871	15,298	130,473	130,473	精算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	2,500	12	△ 2,488				
県支出金	2,690	3,905	1,215	2,670	2,670		
一般財源	112,383	128,954	16,571	127,803	127,803		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41230	訪問指導事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	健康たかやま21(第2次)	市長公約
	款			4	衛生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		訪問指導事業	
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1	保健衛生費	施策概要	分野	5	保健	H28実施計画額	2,000 千円	
			2804	目	2	予防費							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	保健指導が必要であると認められる市民及びその家族等に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	訪問指導の実施 健診結果で訪問指導が必要な者 療養上で訪問指導が必要な者
	対象者数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	健診結果で訪問指導が必要な者や、療養上で訪問指導が必要な者に対する訪問指導の実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	訪問指導延べ人数	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績(見込)	5,053	4,669	4,500	
				算出根拠等	達成率(%)	101	93	90
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	地区担当制による家族全員を対象とした保健指導を行っていく必要がある。
-----------------	------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	地区担当制による効率的かつきめ細やかな訪問指導を実施。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	次年度以降も保健指導が必要と認められる市民に対し、健康の保持増進を図るため保健指導を実施していく。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	利用者の健康状態の把握等による事業実施の成果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,639	1,756	1,903	2,275
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	18	19	21	25
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	訪問指導の実施	要求のポイント	事業実施の課題
			・地区担当制による家族を対象とした保健指導の実施 ・対象者の健康状態の把握等による成果の検証

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,903	2,275	372	2,404	2,404	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	34	34	0	34	34		
	その他			0				
	一般財源	1,869	2,241	372	2,370	2,370		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41240	感染症対策事業費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	4 やさしさに生まれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市新型インフルエンザ等対策行動計画	市長公約
				款	4 衛生費		基本分野		4 福祉・保健	
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1 保健衛生費	分野	5 保健	H28実施計画額	228,000 千円	
			2844・2846	目	2 予防費	施策概要	2 予防対策の推進			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	市民に対し予防接種を実施することにより疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する 新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小限にとどめ、社会・経済を破綻に至らせない 新たな感染症に対する備蓄品の適正な管理と計画的な更新	概要	事業の実施手法(手段)	定期予防接種(A類・B類)の実施 小児インフルエンザ予防接種の助成 高山市新型インフルエンザ等対策行動計画の策定(見直し) 新たな感染症対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画的な更新検討
	対象者数		90,938 人			

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	定期予防接種の実施(平成26年10月1日より、水痘と高齢者肺炎球菌予防接種が定期化される) 小児インフルエンザ予防接種の実施 新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の管理							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	定期予防接種延べ接種者数(A類疾病)	人	目標値	17,500	17,000	19,900	15,552
		実績(見込)	17,593	16,755	15,626			
	算出根拠等	定期予防接種実績		達成率(%)	101	99	79	
	成果指標	小児インフルエンザ予防接種延べ接種者数	人	目標値	14,380	12,500	12,200	13,702
		実績(見込)	11,586	10,954	12,500			
	算出根拠等	小児インフルエンザ予防接種実績		達成率(%)	81	88	102	
	成果指標	高齢者インフルエンザ等予防接種者数(B類疾病)	人	目標値	13,500	14,000	15,000	20,925
		実績(見込)	15,491	19,085	18,967			
	算出根拠等	定期予防接種実績		達成率(%)	115	136	126	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	感染症のまん延や重症化を予防するため、各種予防接種接種率の更なる向上が必要である。(ただし、子宮頸がん予防接種については国の動向に沿って対応する。)
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	国の動向を注視しつつ、新たに定期化された予防接種については、市民に情報を周知する。 定期予防接種(子宮頸がん予防ワクチン以外)の接種率向上に向けて、更なる周知・啓発に努める。 小児インフルエンザ予防接種に対する助成を実施予定。 国・県における新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを踏まえ、市新型インフルエンザ等対策行動計画などを見直す。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	予防接種法の改訂等に沿って実施する。 新型インフルエンザ等対策特別措置法・行動計画に基づいた備蓄品等の整備・更新計画により、備蓄品を適正に確保・管理する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	214,387	227,591	237,561	226,177
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,328	2,484	2,612	2,487
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・定期予防接種、小児に対する任意のインフルエンザ予防接種 ・新型インフルエンザ等感染症対策備蓄品の整備	要求のポイント	・国の制度に対応した定期予防接種の実施	事業実施の課題	・各予防接種の接種率向上
------	--	---------	---------------------	---------	--------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	237,561	226,177	△ 11,384	237,547	237,547	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	237,561	226,177	△ 11,384	237,547	237,547		



# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41250	保健センター管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	市長公約
担当課				内線	款	4		衛生費	基本分野		
				項	1	保健衛生費	分野	5	保健	実施計画事業	保健センター管理事業
		市民保健部 健康推進課	2844	目	2	予防費	施策概要	1	健康づくりへの支援	H28実施計画額	6,500 千円

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	支所地域に設置されている保健センター(6か所)を、適正に管理・運営することにより、支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持増進のための拠点とする	概要	事業の実施手法(手段)	支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営
	対象者数			90,938 人		

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営を実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	保健センター延べ利用回数(市保健事業等以外)	回	目標値	800	800	800	800
				実績(見込)	853	717	800	
	算出根拠等 保健センター利用実績			達成率(%)	107	90	100	
	活動指標	保健センター延べ利用人数(市保健事業等以外)	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500
				実績(見込)	8,851	8,771	7,500	
	算出根拠等 保健センター利用実績			達成率(%)	118	117	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況等を助案し、管理運営方針を決定する必要がある。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		「高山市公共施設白書」等に基づき、効果的・効率的な管理運営方針、必要に応じた保健センターの廃止等を検討する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	拡大	効果的・効率的な管理運営方針、必要に応じた保健センターの廃止等を検討する
		縮小	
		廃止検討	
	○ 維持・改善	拡大	
	縮小		
		廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,207	5,423	6,514	7,048
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	67	59	72	78
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	支所地域に設置されている保健センター(6カ所)の管理・運営	要求のポイント	・老化に伴う施設修繕	事業実施の課題	・施設の利用頻度が低いことから、他施設の利活用も視野に入れ、今後の保健センターの利用方法、管理運営方針について検討する必要がある。
------	-------------------------------	---------	------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,514	7,048	534	6,484	6,484	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	351	531	180	351	351		
	一般財源	6,163	6,517	354	6,133	6,133		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41300	母子保健事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	食育推進計画(第2次)		市長公約
				款	4	衛生費		基本分野	4		福祉・保健	実施計画事業	
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1	保健衛生費	分野	5	保健	H28実施計画額	118,000 千円		
			2846	目	3	母子衛生費	施策概要	1・2	健康づくりへの支援・予防対策の推進				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	乳幼児、妊産婦、不妊治療を希望する夫婦等市民	どうしたいのか(意図)	母性および乳幼児の健康の保持および増進	概要	事業の実施手法(手段)	乳幼児健診・相談、赤ちゃん訪問、新生児聴覚検査 妊婦健康診査、妊婦歯科検診、妊婦教室、妊婦栄養支援 特定不妊治療費助成、特定不妊治療支援利子補給金交付 一般不妊治療(人工授精)費助成
	対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	乳幼児健診・相談、赤ちゃん訪問、新生児聴覚検査、妊婦健康診査、妊婦歯科検診、妊婦教室、妊婦栄養支援、特定不妊治療費助成、特定不妊治療支援利子補給金交付事業を実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	妊婦健康診査受診件数	件	目標値	11,300	11,300	10,800	10,800
				実績(見込)	9,718	9,092	9,500	
	算出根拠等		妊婦健康診査実績	達成率(%)	86	80	88	
	成果指標	乳幼児健康診査受診件数	件	目標値	2,350	2,350	2,280	2,100
				実績(見込)	2,158	2,044	2,000	
	算出根拠等		乳幼児健康診査実績	達成率(%)	92	87	88	
	成果指標	特定不妊治療費延べ助成人数	人	目標値	40	60	90	90
				実績(見込)	91	91	95	
	算出根拠等		特定不妊治療費申請者実績	達成率(%)	228	152	106	
	成果指標	妊婦栄養支援利用者数	人	目標値	200	200	200	200
				実績(見込)	36	57	60	
	算出根拠等		妊婦栄養支援利用者実績	達成率(%)	18	29	30	
	算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	算出根拠等		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	妊婦栄養支援事業については、対象者に対するさらなる事業の周知・啓発が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	妊婦栄養支援事業については、引き続き、市広報や母子健康手帳交付時、妊婦教室時に周知を行い、利用者の拡大に努める。不妊治療に関しては、新たに一般不妊治療(人工授精)に係る経費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、少子化対策の一助とする。	
次年度の実施方針	○維持・改善	次世代を担う子どもを安心して産み、健やかに育てていくためには、必要不可欠であり、今後も継続して実施し、受診率や利用率の向上に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	市民ニーズや効果を精査し、実施内容を検討していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	97,970	94,740	118,155	124,479
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,064	1,034	1,299	1,369
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・乳幼児健診・相談、妊婦教室、赤ちゃん教室 ・妊婦健康診査、妊婦歯科検診 ・未熟児訪問指導 ・不妊治療費助成	要求のポイント	・不妊治療に対する助成	事業実施の課題	・妊婦健診等受診率の向上 ・妊婦栄養支援事業の利用率向上
------	---	---------	-------------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		118,155	124,479	6,324	118,255	118,255	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	400	512	112	400	400		
	県支出金	2,400	2,512	112	2,400	2,400		
	その他	2,000		△2,000	3,500	3,500		
	一般財源	113,355	121,455	8,100	111,955	111,955		

# 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41310 障がい児療育事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画		市長公約
		款	4 衛生費		基本分野	4 福祉・保健	実施計画事業	障がい児療育事業	
担当課	市民保健部 健康推進課	項	1 保健衛生費		分野	2 児童福祉	H28実施計画額	1,300 千円	
	内線 2846	目	3 母子衛生費		施策概要	3 安心して子育てができる環境の整備			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 心身に障がいのある乳幼児	どうしたいのか(意図)	発達障がい等の早期診断・療育により、子どもの能力を最大限に伸ばすことを支援し、児の健全な発達を促す	概要	事業の実施手法(手段)	地域療育相談(障がいの診断のできる医師や療育を専門とする作業療法士、言語聴覚士、保育士等による障がいの早期発見・早期療育)の実施
対象者数	90,938 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	地域療育相談(障がいの診断のできる医師や療育を専門とする作業療法士、言語聴覚士、保育士等による障がいの早期発見・早期療育)の実施。平成25年度と同様にスタッフの確保に努め、7日間(20件)の相談を実施した。						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	地域療育相談件数	件	目標値	18	21	21	21
	実績(見込)		実績(見込)	18	20	21	
	算出根拠等	地域療育相談実績	達成率(%)	100	95	100	
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)					
補足							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	乳幼児期の発達障がい精通した医師が少ないため、開催日・診断・相談件数に制限がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	希望者の診断・相談に対応していくとともに、引き続き市内でのスタッフの確保に努める。担当医の確保・事業内容について、子育て支援課との協議・連携を図る必要がある。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	診断や相談を希望する市民が早期に診断を受けられるよう事業を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	事業の充実に努める必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 894	1,072	1,240	1,251
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 10	12	14	14
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域療育相談の実施	要求のポイント	・専門スタッフの確保
------	------------	---------	------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,240	1,251	11	1,240	1,240	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,240	1,251	11	1,240	1,240		

## 平成28年度 事業別予算概要

事業名	41320	養育医療給付事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画		市長公約
				款	4	衛生費		基本分野	4	福祉・保健	実施計画事業	養育医療給付事業	
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	項	1	保健衛生費		分野	5	保健	H28実施計画額	4,000 千円	
			2844・2846	目	3	母子衛生費		施策概要	2	予防対策の推進			

### 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	未熟児とその保護者	どうしたいのか(意図)	養育のため病院又は診療所に入院を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う(または養育に要する費用を支給することにより、乳児の健康管理と健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る)	概要	事業の実施手法(手段)	厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う以下の医療に対し給付 ・診療・薬剤又は治療材料の支給・医学的措置、手術及びその他の治療 ・病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護・移送
	対象者数	90,938 人					

### 2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う以下の医療に対し給付 ・診療・薬剤又は治療材料の支給・医学的措置、手術及びその他の治療 ・病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護・移送 平成25年度から実施(第2次地方分権一括法により県から移譲)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	医療券発行数	件	目標値	20	20	20	20
				実績(見込)	17	12	16	
		算出根拠等		達成率(%)	85	60	80	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

### 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	必要な医療の給付を適正に行う
-----------------	----------------

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	必要な医療の給付を適正に行う	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	必要な医療の給付を適正に行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

### コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,273	2,847	4,010	4,004
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	31	44	44
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

### 5 予算編成(Action2)

事業内容	未熟児養育医療にかかる医療給付費	要求のポイント	事業実施の課題
------	------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,010	4,004	△6	4,010	4,010	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	1,600	1,600	0	1,600	1,600		
県支出金	800	800	0	800	800		
その他	800	800	0	800	800		
一般財源	810	804	△6	810	810		